

平成23年8月12日

各位

会社名 株式会社アサカ理研
 代表者名 代表取締役社長 山田慶太
 (コード番号:5724)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 忍
 TEL. 024-944-4744(代)

業績予想の修正についてのお知らせ

最近の業績の動向などを踏まえ、平成23年5月27日に公表した平成23年9月期通期(平成22年10月1日～平成23年9月30日)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年9月期 通期業績予想の修正について

(1)通期 連結業績(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,254	369	329	67	27円29銭
今回発表予想(B)	12,822	501	490	169	68円03銭
増減額(B-A)	568	132	160	101	-
増減率	4.6%	35.9%	48.7%	149.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成22年9月期)	11,778	415	386	181	72円19銭

(2)修正の理由

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、サプライチェーンの混乱や電力不足等の問題が発生し、景況感は急速に悪化しておりましたが、サプライチェーンの復旧に目途が立ったことから、生産活動は徐々に回復に向かっております。

当社グループの経営成績に影響を及ぼす電子部品・デバイス工業分野においても、生産が徐々に回復しており、主要製品の取り扱い数量は、前回発表予想を若干上回って推移しております。

一方、製品の販売価格については、金及び銅価格は、前回発表予想の想定を上回って推移しておりましたが、足元では、金価格は上昇、銅価格は下落しております。このため、今後の金価格は、4,000円/g、銅価格は、680千円/tと想定しております。

以上により、貴金属事業の売上高は、販売数量の増加と貴金属価格の上昇によって、前回発表予想と比較して、581百万円増加する見込みです。環境事業の売上高は、銅価格上昇によって主力製品である銅ペレットの売上高が増加するものの、新規事業の販売が計画を下回る見通しであるため、

15百万円減少する見込みです。これらの結果、連結売上高は、前回予想を上回る12,822百万円となる見込みです。

利益面では、売上高の増加によって、連結営業利益は、501百万円、連結経常利益は、490百万円、連結当期純利益は、169百万円となり、いずれも前回予想を上回る見込みです。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上